

山の文化館だより

平成31年
春号

深田久弥 山の文化館
〒九三一〇六七
石川県加賀市大聖寺森場町十八
○〇七六二七二一三三一八
一六一三

久弥と五万分の一地形図と赤鉛筆と

その6

深田久弥が最後に踏んだ頂は蛇峠山のようです。ご存知の方もあろうと思いますが、蛇峠山（標高一六六四、四メートル）は長野県下伊那郡阿智村の南、村境にあります。

深田久弥は、昭和三十七年から亡くなるまでの十年間、元旦は山の上で友人とビールを飲むのを慣わしにしていました。とはいっても最初の那須茶臼岳と朝日岳は、年末に思いついで一人で出かけたようで、道連れは麓の宿で意気投合した同年輩の男性でした。山名と同行者、地形図を表にしてみました。堀込静香氏の著作からまとめました。

深田久弥最後の頂



深田久弥の元旦登山

年号	山名	同行者	5万分の1
S37年	那須茶臼岳、朝日岳		那須岳
S38年	節刀ヶ岳、鬼岳、雨ヶ岳、毛無山	藤島敏男、村尾金二、村尾統一	甲府
S38年	青崩峠、熊伏山	藤島敏男、村尾金二、川喜多莊太郎、松本義夫ほか	満島
S40年	京丸山	村尾金二、川喜多莊太郎、松本義夫	佐久間
S41年	伊那の山		
S42年	杖突峠、守屋山、船峠	藤島敏男、望月達夫、川喜多莊太郎、村尾金二、三辺夏雄、松本義夫	高遠
S43年	御池山、地蔵峠	藤島敏男、川喜多莊太郎、望月達夫、近藤恒雄、村尾金二、村尾統一、松本義夫、黒部満蔵	赤石岳、時又
S44年			
S45年	鳥居峠、権兵衛峠、戸倉山	藤島敏男、村尾金二、近藤恒雄、黒部満蔵、村尾統一、笠原藤七、川喜多莊太郎、	市野瀬
S46年	蛇峠山、大川入山	藤島敏男、川喜多莊太郎ら老童5人	中津川

人物書誌大系14 深田久弥(堀込静香著)、日本山名辞典(三省堂)による

たが、不明で空白もあります。蛇峠山の五万分の一地形図は中津川（飯田8）です。蛇峠山については赤鉛筆でアンダーラインがあるのみです。同じ地図の中の恵那山では、山名や登山口にアンダーラインがあり峠の名前や沢、池の名前の書き込みがいくつか見られます。

そんなわけで、ぜひ蛇峠山の頂を踏みたいと思っていました。元旦とはいから今までせめて冬の間にと思いましたが叶わず、三月初めになってしましました。ところどころ氷になつた残雪を踏みながらの道でした。時部坂峠の駐車場から、別荘地を抜け、馬の背からろし台跡を通り、山頂へ至る二時間ばかりの行程でした。夏場には、馬の背下の鞍部にあるゲートまで車で入れるので、行程は半分近くになるようです。見晴らしが良いことで有名なのですが、残念ながら南アルプスしか見ることが出来ませんでした。展望が良いということで、美ヶ原同様多くの電波塔が立っていました。

阿智村では村内にある恵那山はじめ七つの山を登ると記念品がもらえる「阿智7サミット」を行っています。挑戦してみてはいかがでしょうか。



久弥祭の誘い



■深田久弥ゆかりの地めぐり
午前十時より深田久弥山の文化館を起点にして大聖寺のゆかりの地を巡ります。
ぜひご参加下さい。

日 時 四月一十八日（日）午前八時より
場 所 富士写ヶ岳・九谷ダム広場
式 典 献花 献酒 献句 朗読など
参 加 費 無料（ゆうゆう館入浴割引券進呈）
・式典終了後に富士写ヶ岳登山（自由登山）

岳の山麓で行われます。皆さんご存知のように、富士写ヶ岳は、深田久弥の登山の第一歩となつた山です。春に咲き乱れる石楠花の見事さはもちろん、可憐な小さな花や、ブナの緑の美しさなど魅力あふれる山です。久弥祭は、どなたでも自由に参加できますので、お誘いあわせの上是非ご参加ください。

この一冊

こんな本があります。『忘れえぬ山の人びと』望月達夫著（茗溪堂刊）。望月達夫さんは深田久弥とよく山に登り、親交の深かつた方です。当然、深田久弥も登場しますし、藤島敏男、村尾金二など深田久弥と共に登山した方のことも書かれています。一度手にとつてみてはいかがでしょうか。

●聞こへ会予定

午後一時半より三時
深田久弥山の文化館聴山房（聴講無料）

■四月十四日（日）
演題..鞍掛山と共に歩む賑わいづくり
講師..山下 豊 氏
(滝ヶ原鞍掛山を愛する会会長)

■五月十九日（日）
演題..分校古墳群
ー古墳群のあらましと保存会の活動

講師..比留間 昇 氏

■六月十六日（日）
演題..渓を歩くーイワナつりのこと
講師..柚木寿一氏

■七月七日（日）

演題..古道・徳本峠登山道を守る人々
講師..奥原仁作 氏
(元上高地インフォメーションセンター所長)

○読書会のお説い

五月 十七日（金）「木曽駒ヶ岳」
六月 二十一日（金）「岩木山」
七月 十九日（金）「八ヶ岳」

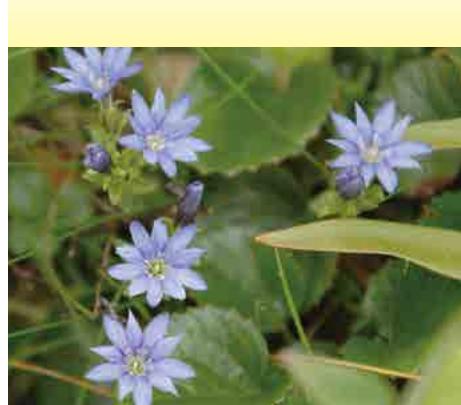
● ● 場所..深田久弥山の文化館
● 時間..午後一時半より三時

※お気軽にご参加下さい。（参加無料）

聴山房展

◇小幡猛水彩画展
（早春の立山と北陸の海岸を彩る）
五月一日～四月三十日

◇真栄隆昭写真展
（白山花ものがたり）
五月十八日～六月三十日



編集後記

新しい年号と共に芽吹きの春が訪れてきました。自然の息吹の中、山へ、または山の文化館へと春を愛でにお出かけください。

各種お知らせ詳細はホームページをご覧下さい

深田久弥山の文化館ホームページ <http://www2.kagacable.ne.jp/~yamabun>